

CO・OP

京都の生協

2009/August/No. 69
京都府生活協同組合連合会



命と食と農をつなぐ「食育」

—文化としての「京都の食」を次世代にひきついでいきたい—

Talk Talk トークとーく

同志社大学大学院総合政策科学研究科教授 / きょうと食育ネットワーク代表

京都府生活協同組合連合会 会長理事

いまざと しげる
今里 滋さん
こばやし ともこ
小林 智子

対談

TalkTalk

トークとーく

命と食と農をつなぐ「食育」

—文化としての「京都の食」を次世代にひきついでいきたい—

同志社大学大学院総合政策科学研究科教授／きょうと食育ネットワーク代表

京都府生活協同組合連合会会長理事

今里 滋さん
小林 智子

同志社のシンボルカラー紫ののれんがひるがえる京町家「江湖館」。ここは「社会の病気を治すお医者さん」を育てるための、同志社大学院総合政策科学研究科の学外キャンパスのひとつです。同研究科教授の今里滋さんが、ガン

「社会のお医者さん」を育てる——学外キャンパスの意味

小林 この町家キャンパスのなかにいますと、西陣育ちの私としては、とてもなつかしい感じがします。同志社大学が町家を学びの場として使われるようになったのは、どうしてですか？

今里 私どもの大学院の総合政策科学研究科が、「現代社会がかかえるさまざまな病気を治すお医者さん、すなわちソーシ

ヤル・ドクターとして、社会起業家を育成しよう」という新しい大学院プログラムを設計し、文科省の競争的資金「魅力ある大学院教育イニシアチブ」に応募したところ、運よく2005年に採択されました。そこで、新しく「ソーシャル・イノベーション研究コース」を設置し、その学外キャンパスとして、この町家キャンパス「江湖館」と

大原に農場キャンパス「農縁館」をつくったんです。と申しますのは、「社会のお医者さん」の養成も、心身の病気を治す医師と同様、理論を学ぶ座学だけでなく臨床が大切ですから、学内で学ぶだけでなく、学外の現場に足を運んだり、地域の方がたとえあれいながら研究をすすめる必要があるわけです。

C/O/N/T/E/N/T/S

トークとーく対談	
命と食と農をつなぐ「食育」	
—文化としての「京都の食」を次世代にひきついでいきたい—	2
特定非営利活動法人・適格消費者団体	
「消費者支援機関関西（KC's）」通常総会	7
消費者団体訴訟制度施行後、	
初の勧誘行為の差止訴訟・和解	7
消費者庁関連法案成立、今秋に発足	7
京都府生協連 第56回通常総会開催	8
2009年 国際協同組合デー第20回京都集会開催	10

ピースアクション京都2009	12
----------------	----

TOPICS

●きょうと食育ネットワーク	
平成21年度通常総会開催	14
●第4回消費者セミナー	14
●「エコローの森づくり」に23人の京都生協	
役員が参加	14
●京丹波町飼料米協定確認式・懇談会	14
●福留志なさん、107歳の誕生会	15
●府庁生協、09夏の地産地消フェア開催	15

●きょうと食の安心・安全意見交換会	15
-------------------	----

●京都府生協連	
新型インフルエンザ対策本部を設置	15
●男女共同参画委員会が「らら京都（京都府	
男女共同参画センター）」を見学	15

おもな行事のお知らせ	16
探訪	
京都府男女共同参画センター～らら京都～	16

小林 「江湖館」というお名前の由来は？

今里 「江湖」は、古代中国

でも使われていた言葉で、「世間」とか「広い社会」を意味します。また、日本では明治維新

以降、「江湖新聞」なるものが発行されてきました。そこで私たちの思いを込めて、「人びと

が広く集まり、衆知を集めて問題を解決する場」という意味で、「江湖館」と名づけました。

「まちづくり」と「食」のつながり——「コミュニティ・食・農」

小林 先生は以前、九州大学で教えておられて、まちづくりなど市民運動のリーダーとしても活動なさっていたとうかがいました。

現在は、同志社大学で教えるかたわら、きょうと食育ネットワークの代表として、食の問題に積極的にかかわっておられますね。食の問題に取り組まれるようになったきっかけは？

今里 私事になりますが、44

歳のときに同い年の前妻を乳がんで亡くしましたので、そのころから食を意識していました。また、当時小4の娘の食事をまかなうために料理もはじめました。

ちょうどそのころ、まちづくり活動の一環として、みんなが集まって、きたんなく話し合える場をつくりたいとも思っていました。それにはいっしょにテーブルを囲んで、飲んだり食べたりするのが一番です。そこ

で、NPO活動のひとつとして「はこざき 箕崎公会堂」というレストランをはじめたんです。

このレストランはその後、女性を中心に、とくに食への関心や知識や経験の豊富なメンバーが参加するようになって、「レストランで提供する食事も、食

材から見直して、無農薬・有機栽培の野菜を中心にした料理を出そう」ということになりました。

食にこだわりはじめると、必然的に農へと関心が広がります。心ある農家の方がたと交流するようになり、生産現場に足

を運ぶうち、「食と農の交流を通じて健全な命をはぐくむ」というスキーム（基本構想）をつくって活動するようになりました。このレストランは現在も、「命と食と農をつなぐ コミュニティ・レストラン 箕崎公会堂」としてがんばっています。

農的なくらしが消えつつ——食の工業化のなかで

小林 このごろは、おとなは仕事、子どもは塾や部活と、みんな、あわただしく過ごしています。家族でともに食事を楽しむことが大切にされなくなりました。

「個食」は、「孤食」でもあるわけで、食が家族や社会の姿を映しているようにも感じます。

今里 「ホウシヨク」という言葉も、もともとは「飽食」ですが、このごろは「豊食」「崩食」「呆食」などさまざまな漢

字があてられていますね。これは、家族関係や社会関係もふくめて、日本人の食の構造変化をあらわしていると思います。

小林 どんな変化があったのでしょうか。

今里 ひとつは食の工業化です。高度成長以前の、まだ農業社会的な要素を残していたころは、ほぼ地産地消で基本的な食をまかなっていましたが、大量の輸入農産物が安く入るようになって、低価格の原料を使った

工業的な食品が流通しはじめました。おそらく、このことが私たちの健康面にも悪い影響をあてたのだらうと思います。

もうひとつは家族関係の変化です。経済的な豊かさやひきかえに、おとなは長時間労働に、子どもは勉強や部活に追われて、家族でいっしょに食事しなくなりしました。いわゆる「共食」の減少です。

それにくわえて、農業・食料生産も、世界的な規模で質的変



同志社大学大学院総合政策科学研究科教授／きょうと食育ネットワーク代表



京都府生活協同組合連合会 会長理事

小林 智子

化をとげつつあります。まず、バイオテクノロジーの「進歩」によって、遺伝子組み換え技術が生まれ、除草剤耐性大豆や病虫害耐性トウモロコシなど、それじたいが殺虫剤の成分をもつような新しい品種が誕生しました。

それらの種子は、巨大な多国

籍企業によって特許がとられ、独占されて、中国やオーストラリア等の大規模食料生産地に広がっています。

つまり、遺伝子組み換え技術とグローバル化した巨大資本による食の支配がすすんでいるわけです。

そういう状況のもとでは、当

然、食の工業化がすすみますので、日本の農業の構造も変化します。自然環境と家族経営に立脚した、伝統的な農業経営はどんどん姿を消し、農業従事者はいちじるしく減りました。つまり、われわれの周囲から「農的なくらし」が消えているわけで、非常にゆゆしい事態です。

横のつながりですすめたい京都の食育——きょうと食育ネットワーク

小林 「農的なくらし」という点では、たとえば牛乳にしても、いまの子どもたちにとって

「スーパーで売っている、紙パック入りの飲み物」にすぎません。でも、生協の産地訪問で

牧場に行くと、牛のからだからほんのり温かい牛乳が出てくる場面立ち会っていると、「紙パックに入った牛乳を飲むこと」と

「牛の命をいただくこと」が結びつくようになります。その意味で、いま先生もおっしゃられたように、農、健康、社会・家族関係の3つの側面から食育の必要性を感じています。

2005年に食育基本法ができた後、京都では2007年に京都府食育推進計画と京都府食育推進行動計画が生まれ、食育

に取組む関係団体による「きょうと食育ネットワーク」が結成されました。このネットワークは、私も京都府生協連も幹事団体として参加して、いまでは86団体という多くのご参加をえています。そうした規模にふさわしい役割をはたしたいものですね。

今年 じつは私は福岡でも、「食育推進ネットワーク福岡」という団体の代表をしています。この団体は、京都とは対照的に、行政関係や各種団体はほとんど入らず、食に関心のある個人や市民団体で構成する、まったく民間のボランティアな組織ですが、メンバーには生産者も消費者も流通業者もいます。毎年、福岡の繁華街の天神で食

育祭を開き、ことしは約7000人が集まりました。活動資金も、補助金はないので、ブックレットの制作・販売などでつづけています。

京都の場合は、食育基本法にめとされた各種団体が網羅され、行政が中心になって各種団体をたばねていくというワケ組みなのですが、行政は予算や権限のワケ内で動きますから、とくに予算がないと動きがとれません。現に京都府においても食育関係予算はごく少額ですので、

インターネットのメンバーングリストでお知らせを配布することぐらいしかできない。このあた

りのブレイクスルー（解決策）を行政まかせにしないことが大切だと思います。

小林 食を中心に自由な発想で、たとえば参加団体が交流・協同する場をふやすなどしたいですね。

今年 同感です。それで、江湖館でも何度か、参加団体の交流会を開いて、飲んだり食べたという横のつながりがありました。そして、たとえば医師会・助産師会・農協のコラボレーションで「健康な赤ちゃんを産むための食を考える講座」を開くとか、そんなことができたらいなと思っています。せつかくのネットワークですから、縦ではなく横につながりたいですね。



文化としての食を伝える

——京都ならではのハイパー食育

小林 とくに「京都の食育」としては、どんなことが考えられるでしょうか。

今里 京都に住むようになって、京料理は、食材から味や盛りつけにいたるまで、すべてが洗練された、日本の食文化の粹であると実感するようになりました。

この食文化を、商業ベースだけでなく次世代にひきつぐことが大切で、そこに京都ならではの食育の必要性もあろうかと思えます。こうした食育は、「文化」でもありますので、食育に文化を加味した、いわば「ハイパー食育」とでもいえるものですね。

そこで私どもの研究科では、同志社小学校の1〜3年生の子どもたちを対象に、「畑からお皿までの食育を考える」というキャッチフレーズで、「食育ファームiロ大原」というプロジェクトに取り組んでいます。子どもたちは、大原の農場キヤンパスで畑の開墾から畝づくりや収穫など、野菜づくりのすべてのプロセスを経験したの

ち、プロの料理人さんにおもてなしの作法もふくめて指導して

いただきながら、みずから育てた野菜を料理します。そうすると、3年生になるころには、本物の味がわかるようになります。

自分がつくった野菜を、おいしく調理し、そのおいしさをみんなに分かち合うために礼儀作法も身につけて、みんなに楽しんでもらう。そういう、茶道にも通じる心と技と自覚を備えた子どもたちが育てば、京都の食文化の担い手になってくれるのではないかと。少々手前ミソですが、そんなことを考えています。

小林 実際に体験すること、とても大事ですし、子どもたちも大喜びします。おもしろいことに、生協で田植えなどの

体験企画をすると、子どもたち以上に、若いお父さんやお母さんが夢中なんですよ(笑)。

今里 いま子育てをしている世代じしんが、農業をふくむ生活体験という面では非常にとほしい環境のなかで育ってきたのかもしれないですね。私どもの研究科では、子どもたちや保護者の方がたといっしょに、種から綿を栽培し、秋には綿で糸くり

をして、その糸を染色して紡ぐという体験活動に取り組んでいますが、綿くりや糸つむぎのような単純作業にハマるのはたいてい若い父親です(笑)。

もちろん、子どもたちは、植物としての綿から、自分たちの身を包む衣が生まれるプロセスに感動し、衣服を見直すようになります。やはり体験は大きな力になりますね。



学生の自発性を引き出し、「社会人力」をつける

——大学生協の取り組み

小林 大学生は、これから社会人になり、子育てもしていく人たちですから、どんな食生活をしているのか、たいへん気になります。

今里 とりわけ心配なのは、これから命を生み出していく女子学生ですね。

小林 一汁三菜のバランスのとれた食事をしていたらそれほ

ど太らないはずなのに、あいかわらず「ヤセたい願望」がつよいし、その一方でケーキやジャンクフードなどもけっこう人気があるようです。そこで大学生



協も工夫して、最近では学生じしんが食堂のメニューづくりに参加する例もふえています。

今里 自分たちで企画したメニューなら食べますからね。私が担当する政策学部の食と農をテーマにしたゼミでも、食料自給率を向上させようということ、女子学生が中心になって、大学生協とのタイアップで、モッフル（小麦粉の代わりにお餅をプレスしたワッフル）をつくりました。新町学舎のカフェテリアで、モッフルにアイスクリームや生クリームなどをかけてデザートとして出していますが、なかなかおいしくて人気です。こういう自発的な取り組みをとおして、日常生活のなかに農的

なライフスタイルや価値観を取り込めるようにしたいですね。

小林 大学では、食を組み立てる力とともに、社会人として生きる力をつけることが大きな課題になっているようですが。

今里 いわゆる「社会人力」ですね。学生のなかには、「この世の中をなんとかしたい」という志に燃えた若者もけっこういるので、私は失望していません。ただ、社会人としてさまざまな責務をはたす根本としての食という意味では、まだまだ自覚が足りない。大学教育のシテムとして、そうした自覚と知識と技術を育むプログラムが必要ですが、あまり存在していないというのが現実です。

よりよき社会の実現をめざす ——協同経済の担い手として

小林 生協にたいしてどんなことを期待されますか。

今里 やはり生協は、消費者が共通の利益を守るために力やお金を出し合い協力することが原点ですから、その原点に立ちかえり、自分たちのくらしや命を守る自律的な運動としての生協運動を、学生消費者や一般消費者にわかってもらうような取

り組みが大切だと思います。

もうひとつは協同経済の担い手としての生協の役割です。いま席卷している新自由主義経済、すなわち競争経済は、ひとつの進歩をもたらした半面、惨憺たる結果を招きました。この競争経済にたいするの、お互いの助け合いに基礎を置いた協同経済です。生協は、協同経済

そういう状況のなかでは、たとえば大学生協で学生むけの料理教室などをやってもらえたらと思いますね。私じしんも、「一物完食」といいますか、魚のきれいな食べ方や大根を皮や葉っぱまで余さず食べる方法などを、授業のなかで教えたいと思っています。



を対置することで、自然環境を守り、貧富の差の少ない社会の実現をめざしていくという使命をもっていますから、その使命の担い手としてお互いがんばっていききたいですね。

小林 生協では、食育を「たべるといせつ」と表現しています。「たべるといせつ」は、生きる力を育む取り組みであり、食を中心とした協同の社会づくりでもあります。ともに食育活動をすすめていきたいと思っています。

今里 滋さんのプロフィール

1951年、福岡県飯塚市生まれ。九州大学大学院法学研究科博士課程修了。法学博士。九州大学名誉教授。2003年4月の福岡県知事選挙に「新福岡空港建設反対」を掲げて出馬。現在は、同志社大学で社会起業論や公共性論を担当している。さまざまなNPOの理事長や理事を歴任し、市民公益事業の分野でも活躍している。著書に『アメリカ行政の理論と実践』など多数。



特定非営利活動法人・適格消費者団体 「消費者支援機構関西（KC's）」通常総会

「記念シンポジウム『差止請求』の成果と今後を考える」

6月27日（土）、大阪科学技術センターで、内閣総理大臣認定・適格消費者団体「消費者支援機構関西（KC's）」2009年度通常総会が開催され、2008年度事業報告をはじめ全議案を満場一致で可決しました。

消費者被害の未然および拡大防止、消費者全体の利益擁護、消費者の権利の実現にむけて2009年度の取り組みがスタートしました。

2009～10年度の役員として、北川善太郎会長理事、榎彰徳理事長が重任したほか、ひきつづき、小峰耕二・京都府生協連専務理事も理事に就任しました。

KC'sには、2009年3月末現在で、14団体正会員（京都府生協連など関西地区の各府県生協連のほか、コンシューマーズ京都など消費者団体）、52団体賛助会員（京都生協、大学生協京都事業連合など）、個人正会員103人、個人賛助会員113人が登録しています。

総会にひきつづきシンポジウムが開催されました。坂東俊矢KC's常任理事（京都産業大学教授）がコーディネーターをつとめ、消費者志向研究所代表・池田康平氏（元松下電器CS本部お客様関連グループ参事）、朝日新聞大阪本社社会グループ記者・阪本輝昭氏、黒木理恵（弁護士）KC's検討委員会委員長がパネリストとして、意見交換しました。

黒木検討委員長は冒頭、08年度のKC'sの活動の成果と課題について報告。つづいて、「KC'sの活動評価について」「消費者から支持されるために」「社会的認知度を高めるために」を論点に討論しました。

報道機関との連携や情報提供、公開セミナー開催などの取り組みが、被害者からの反響・感謝の声につながっていることが数多く紹介されました。

消費者団体訴訟制度施行後、初の勧誘行為の差止訴訟・和解

3月4日（水）、KC'sと英会話教室「グローバルトリニティー」の運営会社である株式会社FORTRESS, JAPANとのあいだで、「退去妨害等の不当勧誘の停止等」を内容とする訴訟上の和解が成立しました。

消費者庁関連法案成立、今秋に発足

5月29日（金）の参議院本会議で、消費者庁関連法案が可決・成立しました。これに先立ち、衆議院でも全会一致で可決・成立しました。

「消費者行政の司令塔」の役割をはたす消費者庁は、消費者被害にかかわる情報を一元的に集約・調査・分析し、事業者にたいして勧告・命令・立ち入り等をおこなう権限をもつほか、各省庁にたいしても勧告をおこなうことができます。とくに食品安全分野では、食品の安全の確保にかんする基本的事項の策定、リスクコミュニケーションの調整等の権限が移管され、その機能発揮が注目されます。

しかし、法案の付帯決議に盛り込まれた項目が、衆議院で23、参議院で34にのぼったように、適格消費者団体への支援のあり方、地方消費者行政の強化、消費生活相談員の待遇改善はじめ、多くの課題が残されています。



4月2日（木）、野田聖子・消費者行政推進担当大臣に要請



消費者支援機構関西（KC's）総会記念シンポジウム

京都府生協連 第56回通常総会開催

全議案を可決、役員18人を選任、総会アピールを採択



開会のあいさつをする
小林智子会長理事

小林智子会長理事が開会のあいさつをのべ、つづいてご来賓の小林裕明・京都府府民生活部副部長（山田啓二・京都府知事代理）、木村幹雄・京都労働者福祉協議会会長から、ご祝辞をいただきました。

6月30日（火）午後1時30分より、池坊学園 洗心館で「京都府生活協同組合連合会第56回通常総会」を開催しました。

今総会の代議員数は41人で、当日の出席は本人出席35人、委任出席2人、書面出席3人でした。ご来賓はじめ、90人の参加となりました。



小林裕明・京都府府民生活部副部長
（山田啓二・京都府知事代理）



木村幹雄・
京都労働者福祉協議会会長

あわせて京都府議会議長、京都市長、国会議員、各関係団体、各生協などからいただいた77通の祝電・メッセージをご紹介しました。

提案されたすべての議案が、可決されました。員外理事をふくむ16人の理事と2人の監事が選任されました。2009年度の役員体制は左ページのとおり



です。

さいごに沼澤明夫常任理事が総会アピールの採択について提案し、拍手で確認しました。

祝電・メッセージをお寄せいただいた方がた（敬称略・順不同）

自由民主党衆議院議員	いざわ京子	民主党衆議院議員	山井和則	京都府社会福祉協議会会長	立石義雄
自由民主党衆議院議員	清水鴻一郎	民主党参議院議員	福山哲郎	京都市社会福祉協議会会長	原健
自由民主党衆議院議員	中川泰宏	民主党参議院議員	松井孝治	京都商工会議所会頭	立石義雄
自由民主党衆議院議員	山本ともひろ	日本共産党衆議院議員	穀田恵二	JA京都中央会会長	中川泰宏
民主党衆議院議員	泉ケンタ	日本共産党参議院議員	井上さとし	京都府漁業協同組合連合会代表理事会長	佐々木新一郎
民主党衆議院議員	北神けいろう	京都市長	門川大作		
民主党衆議院議員	前原誠司	京都府議会議長	林田洋		

総会アピール

激しく急速に変化する時代だからこそ、生協の理念・協同組合の定義・価値・原則を大切にして組合員・地域の願いにこたえましょう！

2008年の世相をあらわす漢字が「変」であったように、いま私たちの暮らしをめぐる状況に大きく激しい変化が生じています。

昨年の前半は原油・穀物などの価格高騰により、食料品・燃料などの必需品の値上げラッシュで、消費者・農漁業者・中小自営業者のくらしと営業に困難が重なりました。後半はアメリカ発の金融危機を契機に、世界をまきこむ同時不況に突入り、自動車産業はじめ輸出に過度に依存してきた日本経済は景気持続基調から一転「戦後最悪・最大の経済危機」といわれる局面に入りました。

これまで「構造改革」の名のもとに、雇用制度や医療・年金・福祉の全面にわたる社会保障制度の改悪がすすめられてきたなかで、景気後退は、国民生活にきわめて厳しく深刻な状態をもたらしています。ワーキングプアと失業が大量に発生し、「格差と貧困」問題はますます重大化して、多くの国民の生存したいを脅かす事態が進行しています。

このようなか、一方で、弱肉強食の市場競争をつつして豊かさを獲得しようとするのではなく、人間と地球環境・地

2009年度体制

6月30日現在 (敬称略)
*印は新任

- 会長理事 小林 智子 (員外)
- 副会長理事 中森 一朗 (京大生協専務理事)
- 専務理事 小峰 耕二 (員外)
- 常任理事 今西 静生 (京府生協同組合専務理事)
- 常任理事 沼澤 明夫 (大学生協同組合京都事業連合専務理事)
- 常任理事 村田 二三男* (京生協同組合常務理事)
- 常任理事 廣瀬 佳代 (員外)
- 理事 小野 留美子 (乙訓医療生活協同組合専務理事)
- 理事 金谷 薫 (全京都勤労者共済生活協同組合専務理事)
- 理事 佐々木 郁子 (生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ理事長)
- 理事 田中 弘 (京府医療生活協同組合専務理事)
- 理事 羽賀 省二* (京府教育大学生協同組合専務理事)
- 理事 毛利 雅彦* (同志社生活協同組合専務理事)
- 理事 行松 龍美 (やましろ健康医療生活協同組合専務理事)
- 理事 右近 裕子 (員外)
- 理事 高田 艶子 (員外)
- 監事 笠谷 敏子* (京生協同組合理事)
- 監事 酒井 克彦* (立命館生活協同組合専務理事)

(事務局)

- 事務局長 坂本 茂
- 事務局次長 高橋 薫
- 事務局担当 川端 浩子
- 渉外・教育担当 原 強



「まとめ」の報告をする
小峰耕二専務理事

当日は10人の代議員から、地域生協・大学生協・医療生協・職域生協の活動、平和の取り組みについて活発な発言がありました。

これらの発言をふまえ、小峰専務理事は「この1年の多様な活動について報告をいただき、これらをしつかりとくめ、みなさんがたといっしょに連合会の活動をすすめてまいりたい」とのまとめをおこないました。

10人の代議員が発言

発言者とテーマ



病院購買部
店舗の現状

京都府立医科大学・
府立大学生協同組合
松波貴哉 代議員



京都橋学園生活協同組合
東川絹子 代議員



生活協同組合コープ
自然派京都
坂本真有美 代議員



生活協同組合生活クラブ
京都エル・コープ
細谷みつ子 代議員

2008年度
活動報告

2008年度報告と
2009年度の取り組み



府庁生協での地産地消
の取り組みについて

京都府庁生活協同組合
小山敏子 代議員



やましろ健康医療
生活協同組合
佐藤京子 代議員



乙訓医療生活協同組合
中尾史香 代議員



京都医療生活協同組合
清水武彦 代議員

医療をめぐる現状と
やましろの取り組み

医療生協を再発見。サークル
を軸につながる組合員

信頼される眼科を
めざし、予算達成

今回退任された役員のみなさん

(敬称略)

- 理事 栗飯原 利弘 (龍谷大学生協専務理事)
- 理事 大塚 正文 (京都橋学園生協専務理事)
- 監事 末廣 恭雄 (京府府医・府大生協専務理事)
- 監事 眞柄 征市 (乙訓医療生協理事)



京都生活協同組合
有地淑羽 代議員
(京府府生協同組合連合会・ピースフ
ォーラム 甲種活動推進委員会 委員)



京都生活協同組合
二場邦彦 代議員

京都生協の
活動について

NPT再検討会議へ
国際世論を高めよう

域社会の「共生」をもとめ、利益追求を至上目的としない実践がいろいろな分野に広がっています。生活協同組合も、そのような社会的経済組織のひとつであり、資本主義が生み出す社会的な矛盾・ゆがみ・ひずみにたいし、みずからの力で新しい未来をつくりだそうという理念をもって誕生・成長してきました。

生協は今日、全国で2400万人の組合員が参加する日本最大の消費者組織として成長・発展しています。一人ひとりが平和で幸せな生活を築くことのできる社会の実現のために、生協がはたしてきている役割は大きなものがあります。消費者運動と世論の高まりのなかで、このたび、消費者行政を一元化するための法律・組織の整備・充実にむけて、あらたな一歩がふみだされました。食の安全・安心の課題をはじめ、医療や社会保障、環境などの分野においても、消費者権利が十分に確保されなければなりません。

本日、京都府生活協同組合連合会は第56回総会を開催し、京都における生協への加入組合員数が66万9500人を数え、地域・学園・職域・医療・共済などの多くの分野で、旺盛な事業と活動をすすめていることをたしかめました。

世界中の国々が国境を越えて激しく急速に変化していく時代だからこそ、私たちは生協の理念・協同組合の定義・価値・原則を大切にしたい。事業・活動・組織運営をすすめる、組合員の願いにこたえていかなければなりません。また、地域社会の一員として、さまざまな団体・個人との連帯の輪を広げる取り組みをつよめ、「人間らしい暮らしの創造と持続可能な社会の実現」にむけて、組合員・役員がともに生協組織がそなえている力を発揮していかなくてはなりません。

2009年6月30日

京都府生活協同組合連合会

2009年 国際協同組合デー

第20回京都集会開催

「いま、京都の協同組合は…」をテーマに



京都府漁業協同組合連合会・佐々木新一郎代表理事会長が開会あいさつ

7月15日(水)、キャンパスプラザ京都を会場に、「2009年国際協同組合デー 第20回京都集会」が開催され、JA、漁連、森連、生協から190人が参加しました。

集会は、平和とよりよい生活をめざして協同組合運動の発展を誓い合う「国際協同組合デー」を記念して、毎年開催されているもの。京都府協同組合連絡協議会(構成/JA京都中央会・京都府漁業協同組合連合会・京都府森林組合連合会・京都府生活協同組合連合会)が主催しました。

ことしは、「いま、京都の協同組合は…」をテーマに、それぞれの協同組合から各協同組合の現状・課題・展望についての報告がありました。

四連からの報告をうけ、NPO法人京の農産物あんしんネットワーク事務局長・岡部漱介さんからコメントがありました。

第20回京都集会は、京都府生活協同組合連合会・坂本茂事務局長の司会で開会、京都府漁業協同組合連合会・佐々木新一郎代表理事会長から開会のあいさつがありました。

つづいて、各協同組合の代表から「京都の農業とJA」「京都府水産業の現状と課題」「京都の森林・林業と森林組合」「消費者のくらしと生協」と題した報告がありました。

参加者からは「それぞれの分野での活動を知る機会がもててよかった」「わかりやすく工夫された内容で興味深く聞くことができた」「4つの協同組合がつながっていることを実感した」などの声がよせられました。

コメントーターの岡部漱介さんからは、「未来の協同組合の発展のためには若い担い手の育成が重要課題。そのためにできることを考えなければならぬ」との指摘がありました。

第20回開催記念プレゼント
京都府庁生協の「健康ばんざい京のおばんざい弁当」が好評でした。

今回は20回開催記念として、「健康ばんざい 京のおばんざい弁当」がプレゼントされました。

京都府庁生協が提供した当日のお弁当は「きょうと健康長寿日本一プラン」の一環として京都府が企画し、「京のおばんざい弁当普及推進協議会」が認定しているもの。野菜を120g以上使用する、エネルギー600〜750kcal、主食エネルギー比40〜50%、揚げ物は1料理以下など、8項目の規格基準を満たしたお弁当です。

「おなかのまわりが気になる方におすすすめ!」「栄養バランスもばっちり!」「薄味で品数も豊富、脂肪分も少なくてとってもヘルシー」などたいへん好評でした。

四連からの報告——現状・課題・展望

「京都の農業とJA」

JA京都中央会専務理事

十川洋美氏



府内には5つのJA（JA京都市、JA京都中央、JA京都やましろ、JA京都、JA京都にのくに）があり、組合員は11万6634人います。安全・安心な農産物づくりをすすめています。

生産履歴のわかるトレーサビリティシステム（米・京野菜・茶）、京都こだわり生産（ブランド）認証制度の検査の実施、第三者監視機関による検査、農業のポジティブリスト制度への対応などです。JAの直売所での朝市は現在10店舗あり、販売高も伸び、注目されています。

人口増による食料の争奪や農地の争奪など、JAは大転換期に突入しています。

「京都府水産業の現状と課題」

京都府漁業協同組合連合会参事

野村知史氏



漁業協同組合の組合員は2526人です。わたしたちは、資源を適正に管理しながらおこなう漁業（資源管理型漁業）、稚魚、稚貝を放流して育てる漁業（栽培漁業）の取り組みをすすめています。

水産物のブランド化・特産物づくりをすすめる、丹後とり貝は京のふるさと協会の「京ブランド産品」に水産物として初めて認証されました。ズワイガニとアカガレイ漁業においてはアジアで初めて「海のエコラベル・MSC」の認証をうけました。

「浦島エコーの森づくり」として、2001年から伊根町大鼓山植樹を実施し、海・里・山の連携にも取り組んでいます。

「京都の森林・林業と森林組合」

京都府森林組合連合会専務理事

吉合幹夫氏



森林は、地球温暖化の防止、土砂災害の防止、生物多様性の保全、水源のかん養など、大切な役割をはたしています。

森林組合は、植林・下刈・除伐・間伐など森林をつくり育てること、林道・作業道をつくること、木材・林産物を運搬・販売することなどをおこなっています。

組合員は4万2000人います。組合員である森林所有者に「森林施業プラン」を作成し、森林本来の機能がはたせる提案をおこなっています。

国産材を使い、森林を整備することでCO₂を削減、地球温暖化の防止を目的にした「木（気）づかい運動」の取り組みをすすめています。

「消費者のくらしと生協」

京都府生活協同組合連合会専務理事

小峰耕一氏



くらしをよくしたいという消費者の願いをみんなの力でかなえようとする組織が生活協同組合です。

京都府生活協同組合連合会は京都府内19の会員生協で構成されています。地域生協・大学生協・医療生協・職域生協・共済生協があります。

消費生活の安全・安心、平和・環境、税金・社会保障、福祉・医療制度、防災、地域のコミュニケーション・結びつきなど、多様な場面で社会的な役割が発揮できるように取り組みをすすめています。

とくに食の安全・安心の実現には、農業・漁業・森林業と生協との連携の強化がかせません。

「四連からの報告をうけての「メント」

NPO法人京の農産物あんしんネットワーク事務局長

岡部淑介氏



生協を除く3つの協同組合の報告に共通して印象的だったことに、正組合員数の減少、売上の減少、先行きの不透明感があげられます。

この状況の分析を経営コンサルタントに依頼すれば、構造不況業種という指摘がされるでしょう。

少しきびしい言葉になるかもしれないが、地産地消は耳当たりはよいけれども、値段が高く買えないのも現実。安いものがほしい消費者のニーズなど、国内の生産者はこたえられるのか。明るい展望も個々に報告されておられましたが、その根拠となるものとして、地域産業との連携、消費者の理解、ほかの協同組合との連携などが必要と考えられます。

食にかんする理念・哲学がもとめられています。民族の興亡をかけた国家戦略としてとらえるべきだと考えます。

ピースアクション京都 2009

6月21日（日）、京都府連のよびかけで
生協組合員250人がピースパレードに参加



京都府連・小林智子会長理事、乙訓医療生協・小野留美子専務理事、府庁生協・今西静生専務理事らが、パレードの先頭をきって行進しました。

京都府生協連が、府内の生協組合員によびかけたもので、京都生協・大学生協・医療生協・府庁生協などのほか鳥取県生協の組合員・役職員の参加がありました。それぞれの平和への思いを

6月21日（日）、「2009年ピースパレード京都」が取り組まれました。心配されていた雨もやみ、円山公園での出発式のと、祇園石段下から四条通、河原町通をとり京都市役所まで、平和の大切さを市民に訴えながら、楽しく元気に歩きました。当日は日曜日でもあり、250人が参加しました。



大学生協のみなさんが、虹の旗をもって行進しました。



鳥取県生協のみなさんが、日本海コースの横断幕をもって行進しました。

買い物客の方がたや、外国人観光客の方からも、熱い声援をうけました。ゴールとなった市役所前ではまとめ集会がおこなわれ、小林智子会長理事があいさつをのべました。

近鉄大久保駅ブルースバンドのにぎやかな演奏のもと、崖の上のポニョの替え歌「ポニョアピール」をうたったり、「ピースアピール」を読み上げました。

ピースパレード さあ出発！



京都生協・南ブロックのみなさんが、出発式でアピール。



ピースパレード実行委員長・大福一栄さんが、あいさつをしました。



京都生協・山本祐司専務理事



京都府生協連・笠谷敏子監事



大学生協 京滋・奈良地域センターのみなさん



ポニョアピール

ポニョ ポニョ ポニョ 平和の子
 青い地球（ほし）からやってきた～
 ポニョ ポニョ ポニョ 世界中
 幸せ願う平和の子～

ピースアピール

- ① 平和の花をさかせましょう！
- ② みんなで愛とやすらぎのある社会をつくりましょう！
- ③ 戦争体験を次の世代につなげましょう！
- ④ 世界中から全ての核兵器をなくしましょう！
- ⑤ 来年のNPT再検討会議を成功させましょう！

きょうと食育ネットワーク 平成21年度通常総会開催

6月7日(日)、京都府庁旧本館で「きょうと食育ネットワーク平成21年度通常総会」が開催され、2009年度事業計画をはじめ全議案を承認しました。

今年度の事業計画として「きょうと食育強化月間(11月)」を設定し、食育講座の開催やイベント出展・マスコットや標語の活用で啓発・普及につとめることとしました。高橋薫・当連合会事務局長が幹事に選ばれました。

同ネットワークは食育にかんする普及・啓発、情報の収集・提供、食育支援活動の登録・提供などの取り組みをおこなっており、保健衛生、農水産、教育・大学、商工、消費者団体、報道関係など幅広い分野から86団体が会員登録しています。

料理研究家・坂本廣子氏が講演

総会終了後、「きょうと食育講



子どもたちの体験が大事

演会」が開催されました。「生きる力を育てよう」食育のすずめ」と題して、相愛大学客員教授 食育・料理研究家の坂本廣子氏が講演しました。

食育にかんしては、実際に子どもたちが包丁をにぎって体験することが重要であることを指摘されました。

「京都こだわりマルシェ」も同時開催

きょうと食育ネットワーク平成21年度通常総会とあわせて、同日、京都府庁旧本館、前庭、中庭で、京都府内で栽培・生産された食品を販売する「京都こだわりマルシェ」が開催されました。

府庁旧本館活用ネットに参加するNPO法人日本都市農村交流ネットワーク協会が中心となって取り組まれたもので、府庁旧本館を活用したこのような催しは、今回がはじめてです。

府内各地の産地地消のお弁当やお菓子、舞鶴市の肉じゃがなどのほか、手作りのろうそくや草木染などが販売されました。

生産者や消費者が安全な食や地産地消について考える一日となりました。

大学生がコントを熱演！甘い勧誘・不当な契約に気をつけて——第4回消費者セミナー



先輩からの勧誘は断りにくい……

6月3日(水)、キャンパスプラザ京都で、大学生をおもな対象にした「第4回消費者セミナー」が開催されました。

今回の企画は、消費者支援機構関西(KC,S)・京都産業大学大学院法科学研究科の共催によるもので、不当勧誘を認めた「英会話教室との和解内容」を勧誘対象者である大学生に知ってもらうことが目的。当日は、総勢72人の参加となりました。

演者7人中6人が大学生という「コント」3本(「マルマル・マルチ」、「登録でどつきり」、「勧誘する人々」の巻)は、オーディションを勝ち抜いた学生の熱演で消費者被害がわかりやすく紹介されました。

「エコローの森づくり」に23人の京都生協役職員が参加

6月27日(土)、京都府漁業協同組合連合会主催「浦島エコローの森づくり」(京丹後市伊根町太鼓山)に、京都生協役職員23人が「飼料米・飼料稲応援職員ボランティア」の活動のスタートと位置づけて、参加しました。

豊かな漁場を維持するうえで、森林から供給される河川水が重要な役割をはたすことから、全国各地で漁業者が植林をおこない、森を育てる活動が取り組まれていきます。今回は、下草刈りなどの育樹活動をおこないました。

京丹波町飼料米協定確認式・懇談会

5月27日(水)、京丹波町・グリーンランドみずほで、みずほフ



『さくらこめたまご』(仮称)の供給にむけて



飼料米の田植え

アーム・瑞穂町農業公社・京丹波町地域水田農業推進協議会・京都農業協同組合・京都生活協同組合・京丹波町・京都府南丹広域振興局による「飼料米協定確認式・懇談会」が開催されました。

会場には京都生協理事・行政区委員はじめ、60人が参加し、他地域で生産された飼料米卵の試食や4種類の飼料米の紹介がおこなわれました。

当日は3月に結んだ『協定書』の内容を確認し、こんごのすずめ方や、コストと収量確保の問題、来年1月以降の「試験供給」にむけての検討をおこないました。

京都生活協同組合では、「飼料米の生産、飼料米を給与した『さくらこめたまご』(仮称)の生産・販売」についてのプロジェクトを京都府下3カ所(京丹後市、京丹波町、亀岡市)ですすめています。

福留志なさん、107歳の誕生会

「ふりそでの少女・福留美奈子ちゃん」のお母さん・志なさんが107歳をむかえられ、4月29日（水）、綾部市小畑町・丹の国荘で誕生会が開かれて、府内各地から30人が参加しました。

10歳のときに長崎で被爆死した美奈子ちゃんの分をあわせて、文字どおり二人分の人生を歩まれています。

志なさんはいつも「戦争はあかん！平和が一番！」とおっしゃいます。当日は、元気な姿を見せられ、多くの方がたから、お祝いの言葉がありました。



「平和が一番！」と福留志なさん

府庁生協、09夏の地産地消フェア開催

京都府庁生活協同組合は、7月6日（月）～10日（金）の5日間、食堂と購買店舗の合同企画として、09夏の地産地消フェアを開催



鯖の塩焼きとバラ寿司（7月10日）

しました。

食堂では、女性農業者で構成されている府民生活研究グループ協議会から提案された「京ごちそうさま お母さんの味」郷土料理のなかから、京都産の野菜などを材料にして日替わり特別メニューが提供されました。

購買店舗では、トマト・キュウリ・ナス・万願寺とうがらしなどの旬の野菜、丹後産芋焼酎（いもたん）、米粉パンなどが人気をよびました。京都府農林水産部の協賛で実現しました。

きょうと食の安心・安全意見交換会

7月17日（金）、京都府庁旧本館で、2009年度第1回きょうと食の安心・安全意見交換会が開催されました。

京都府食の安心・安全推進課か

ら「適正な食品表示の確保に向けた京都府の取り組みについて」（独）農林水産省消費安全技術センター表示指導課・苗床義隆専門調査官から「表示監視のための科学分析技術について」、それぞれ報告があり、意見交換しました。

提供した内容は以下のとおりです。①わが国における発生段階の区分と感染防止のポイント、②個人・事業者が実施できる感染防止対策、③個人防護具、④段階ごとの感染防止対策、⑤事業継続計画方針（京都府生協連）、⑥個人での備蓄物品。



食品表示をテーマに意見交換

京都府生協連 新型インフルエンザ対策本部を設置

4月28日（火）、京都府生協連は新型インフルエンザの発生認定をうけて、対策本部を設置。会員生協にたいして「京都府生協連・新型インフルエンザ対策要綱」の情報提供をおこないました。

男女共同参画委員会が「ら京都（京都府男女共同参画センター）」を見学

京都府生協連・理事会小委員会である男女共同参画委員会（高田艶子委員長）は、5月26日（火）、「ら京都」を訪問、施設見学をおこないました。

同センターは、「京都府男女共同参画推進条例」（2004年4月施行）にもとづく男女共同参画社会づくりを推進するための拠点施設。各種の相談事業や女性のチャレンジ支援事業などをすすめています。浜野令子館長に、施設の概要と男女共同参画推進の取り組み



ら京都 浜野令子館長



「行動し、がんばっている女性たちが……」

について、お話をうかがいました。浜野館長からは、「チャレンジオフィス」を利用している女性の仕事ぶりや、地域おこし・まちづくり・観光分野での女性の活躍の状況など、豊富な資料とともに「いねいにご説明いただきました。」

「起業をめざす女性のなかから、ソーシャルビジネスの全国55選に選ばれる方が生まれるなど、全国的な評価をうける方が育っている」6月には、センターのコーディネートで、京丹後市の女性グループが、大学生や地域の男性・子どもたちとともに、200人規模での『海水浴場で砂場遊び』丹後の子育て支援事業を計画中心のこと。

今回の見学では、「行動し、がんばっているすてきな女性たちの活動」を知ることができ、男女共同参画委員会メンバー一同、感銘をうけました。

おもな行事のお知らせ

2009年度京都府総合防災訓練

主催：京都府
 日時：9月5日(土) 10:00～
 会場：メイン会場：京都府立丹波自然運動公園
 ※京都府生協連はJAGグループとともに緊急物資搬送訓練に参加。

京都府協同組合

「第9回職員交流・体験学校」

主催：京都府協同組合連絡協議会
 (JA・森連・JF・生協連)

日時：9月11日(金) 13:30～12日(土) 12:00

会場：京都府舞鶴市・宮津市

内容：京都府漁業にかんする研修・京都府立海
 洋センター見学・地引網体験など

第40回京都消費者大会

主催：コンシューマーズ京都・京都生協・京都
 府生協連・府庁生協・大学生協京滋奈良
 地域センター

日時：9月12日(土) 14:00～

会場：ハートピア京都

2009・京都・たべるたいせつフォーラム

主催：京都府生協連
 日時：10月31日(土) 10:00～11:50(予定)
 会場：京都テルサ東館セミナー室

京都環境フェスティバル2009

主催：京都府・京と地球の共生府民会議ほか
 日時：11月21日(土)・22日(日)
 ※京都府生協連は会員生協の環境商品、取り組み紹介
 で出展予定。

京都府男女共同参画センター

～らら京都～

京都府における男女共同参画の推進拠点として、女性を対象としたDV等の相談事業や再就職、起業、地域づくりに取り組む女性などを支援しています。また、幅広い世代の男女を対象に、ワーク・ライフ・バランスの取り組みもはじめています。



交流コーナー（情報コーナー）



ワーキングルーム（印刷室）



〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70
 京都テルサ東館2F
 TEL: 075-692-3433
 FAX: 075-692-3436

E-mail: info@kyoto-womensc.jp
 URL: http://www.kyoto-womensc.jp/

探訪

Tan-bou

CO-OP

発行：京都府生活協同組合連合会 〒600-0408 05-1 京都市中京区烏丸東丸川東南角 せいぎよこ会館2階
 TEL: 075(251)1551 FAX: 075(251)1550
 URL: http://www.kyotofu-seikyoren.com E-mail: kyotofu.seikyoren@ma2.seikyone.jp

京 京都府男女共同参画センター「らら京都」は、京都テルサ東館2階にあります。開放的な入り口から入ると、交流コーナーがあります。参考資料や書籍を自由に閲覧したり、利用者どうしの情報交換やいい場所としても利用されています。絵本などもあるので、ベビーカーで来られている女性の姿もみられます。

そ の奥には、パソコンも使用できるミーティングルーム、製本機も備えた印刷室が整備されているワーキングルームへとつづきます。ここでは、各種講座やセミナーの開催のほか、男女共同参画の推進・地域づくりをめざす団体やグループが、活動拠



ワーク・ライフ・バランス推進コーナー

同 点として利用しています。登録団体には、ロッカーの貸し出しもあり、備品も収納可能です。じフロアには、個室になつている相談室があり、「女性・労働相談や法律相談」「DVサポートライン」「女性チャレンジ相談」など、女性のかかえる広範な悩みごとの相談をうけています。ここでは、関連した法律や制度、行政サービスなどの情報提供もされ、問題解決への糸口をさぐるお手伝いをしています(相談は無料。予約が必要です)。

子 育て中の女性の相談や研修のサポートとして、東館1階に保育ルームもあります。